

令和4年度（2022年度）  
事業実績報告書

1. 申請者の概要

申請者	団体名	和泉商工会議所
	代表者職・氏名	会頭 山本 恭弘
	所在地	〒594-1144 大阪府和泉市テクノステージ三丁目1番10号
	担当者	職・氏名 課長 味谷 厚志
	連絡先	TEL（直通）： 0725-53-0320 Fax： 0725-53-5959 E-mail： <a href="mailto:miya@izumicci.jp">miya@izumicci.jp</a>
①設立年月日	平成6年4月1日	
②職員数 （うち経営指導員数）	職員数 17名（経営指導員8名）（令和5年3月31日現在）	
③所管地域	和泉市	
④管内事業所数	5, 887（平成28年度経済センサス）	
⑤管内小規模事業者数	4, 238（平成28年度経済センサス）	
⑥会員数（組織率）	2, 353（令和5年3月31日現在）	
※②、④、⑤、⑥については直近の数字を記載すること		
□主な事業概要（定款記載事項等）		
①商工会議所としての意見の公表、国会、行政庁等に具申・建議、行政庁等の諮問への答申 ②商工業に関する相談・指導、情報収集・提供、調査研究、講習会又は講演会の開催、施設の設置・維持・運用 ③商品の品質又は数量、商工業者の事業の内容その他商工業に係る事項に関する証明、鑑定又は検査 ④輸出品の原産地証明 ⑤商工業に関する技術又は技能の普及又は検定 ⑥博覧会、見本市等の開催・あっせん ⑦商事取引に関する仲介又はあっせん、紛争に関するあっせん、調停又は仲裁 ⑧商工業者の信用調査、観光事業の改善発達 ⑨行政庁から委託を受けた事務 ⑩社会一般の福祉の増進に資する事業 ⑪国際親善の増進を図る事業 ⑫上記のほか、商工業者の委託を受けて当該商工業者が行うべき事務（その従業員のための事務を含む。）を処理し、その他商工会議所の目的を達成するために必要な事業		

## 2. 事業概要

和泉商工会議所

### (1) 事業の目標

多くの小規模事業者が新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、自己資本並びに収益基盤が脆弱化している状況下において、外部環境（資金繰りや税法改正等）の変化への対応と内部環境（雇用問題や事業計画書策定等）の改善及び経営基盤拡充を図ることを目的とする。

小規模事業者の経営課題の解決に向けては、これまでも実施している「経営課題の抽出・把握・分析・提案・支援実施・フォローアップ」のPDCAサイクルに沿った支援を更に強化し、個者支援及び面的支援を展開していく。

コロナ禍における経営手法に関しては、業種、業態、事業規模及び企業背景により様々であり、多様な支援手法が必要となるため、国、府、市、各種支援機関並びに専門家との連携により、適時情報提供と支援策の提案実施を迅速に推進していく。

### (2) 事業を実施した具体的な内容、方法及び工夫した点

#### [経営相談支援事業]

新型コロナウイルスにより、商業事業者においては売上は回復傾向にあるものの価格高騰による利益薄で経営圧迫が見受けられる。また製造業・建設業等のBtoB事業者に関しても、材料調達に支障が出たり賃上げやインボイス制度などWITHコロナ・AFTERコロナに向けた動きが見受けられ、専門家との連携も多かった。

#### [専門相談支援事業]

小規模事業者が直面する専門的な課題解決に向けて当所提携専門家（弁護士、中小企業診断士、司法書士、行政書士、社会保険労務士、税理士、弁理士）との連携により、経営指導員同席による三者面談を迅速に実施。

#### [地域活性化事業]

「求人・求職マッチング事業」はオンラインとリアルで年2回に亘り事業を実施し、人手不足の解消につながるように「雇用」にも至るよう注力した。

### (3) 事業を実施した効果、所管地域の活性化の状況

#### [経営相談支援事業]

資金調達、資金繰り支援を想定していたが、公庫や保証協会によるコロナ融資の返済が始まっている中、価格高騰や賃上げ等厳しい経営状況が続いているため、借り替えの相談が多かった。またインボイス制度などの税務相談が多く、厳しいながらも小規模事業者は工夫し事業継続策を見出していた。また昨年度に引き続き、各種支援金、助成金等の施策に関しても早期に情報提供を行い、周知及び適時活用を促す事ができた。

#### [専門相談支援事業]

本事業に関してもコロナ禍の影響もあり、緊急性の高い相談等が大半を占め、税務に対する相談件数は増加。相談事案に適合した提携専門家との三者面談を早期に実施した事により、迅速な課題解決に繋げる事ができた。

#### [地域活性化事業]

オンライン面接、求人求職マッチングフェアのリアル開催とアフターコロナを見据えて、当初の事業計画に沿った実施内容とする事ができ、参加事業所からも高い満足度を得る事ができた。

### (4) 事業を実施した結果浮かび上がった課題

#### [経営相談支援事業]

ウィズコロナ・アフターコロナに向けた経営維持及び改善支援が多く、緊急を要する経営課題の解決に向けてスピード感を重視した支援を実施。直面する経営課題の解決のみならず、今後を見据えた経営基盤の立て直し及び強化を図るための中長期経営計画構築に向けての支援に一層注力していく事が必要で、資金調達支援や労働相談が増加する見込みである。

#### [専門相談支援事業]

本事業においては、迅速対応により小規模事業者の支援ニーズに対応しているが、今後更なる事業効果を高めるため、支援後のアフターフォローをより強化していく。

#### [地域活性化事業]

オンライン化による事業実施に対して、求職者が集まりにくくなっている。理由は、顔を見て面談して会社の雰囲気を感じたいというものであった。今後はリアル開催により優れた人材を確保するだけでなく、本事業で採用された人材が離職していないかの調査も実施して行く。

### (5) 次年度の取り組み

今年度は、内部環境の改善によりウィズコロナ、アフターコロナ時代を見据えて必要となる事業運営手法についての相談が増加している。来年度は金融支援（資金調達・借り替え資金）についての相談が増加すると思われる。厳しいながらも小規模事業者は工夫し事業継続策を見出しているため、小規模事業者の経営課題の解決に向けては、引き続き「経営課題の抽出・把握・分析・提案・支援実施・フォローアップ」のPDCAサイクルに沿った支援を更に強化し、個者支援を更に強化していく。

また、コロナ禍で異業種交流会などが中止になっていたが、今後は小規模事業者も積極的に交流を通じた営業活動を実施したいという声も多いため、業種、業態等に応じていくために多様な支援手法が必要となる。そのために、国、府、市、各種支援機関並びに専門家との連携により、適時情報提供と支援策の提案実施を迅速に推進していく。

### 3. 経営相談支援事業・専門相談支援事業 和泉商工会議所

#### I 経営相談支援事業

##### 支援のポイント・成果

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受ける小規模事業者に対して金融支援を中心に直面する資金繰りの改善に対する支援を実施してきた。今年度は、インボイス制度や労務相談などウィズコロナ、アフターコロナを見据えた事業運営手法についての相談が増加した。想定していた金融支援（借り替え資金）が多かったが、資金繰り悪化による返済条件変更についての相談は少なく、厳しいながらも小規模事業者は工夫し事業継続策を見出していた。

令和5年10月から始まるインボイス制度についての関心が多く、制度内容や適正な税務申告など記帳支援及び税理士の専門相談支援事業が増加した。

##### 【支援の代表事例】32-04-86

衛生商品（石鹸や化粧品など）の販売・配送を運営。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、長期資金調達支援（公庫 借り換え融資）を実施。借り換えを実施できたことにより、資金繰りも安定された。

アフターコロナを見据え、今後の受注予定や売掛債権の回収条件の改善を指導した。

自社の強みや弱みを洗い出し、中長期的な計画により改善ポイントを認識させることや販管費の削減の提案など決算書の分析による指導を実施した。

支援メニュー	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
事業所カルテ・サービス提案	事業所	420	498	118.6%	5
支援機関等へのつなぎ	支援数	10	11	110.0%	5
金融支援（紹介型）	支援数	120	89	74.2%	4
金融支援（経営指導型）	支援数	90	47	52.2%	4
マル経融資等の返済条件緩和支援	事業所	2	0	0.0%	1
資金繰り計画作成支援	事業所	15	11	73.3%	4
記帳支援	事業所	70	133	190.0%	5
労務支援	支援数	90	93	103.3%	5
人材育成計画作成支援	事業所	0	0	0.0%	1
マーケティング力向上支援	事業所	2	0	0.0%	1
販路開拓支援	支援数	3	3	100.0%	5
事業計画作成支援	支援数	60	50	83.3%	5
創業支援	事業所	20	42	210.0%	5
事業継続計画（BCP）作成支援	事業所	5	0	0.0%	1
コスト削減計画作成支援	事業所	0	0	0.0%	1
財務分析支援	事業所	40	26	65.0%	4
5S支援	事業所	0	0	0.0%	1
IT化支援	事業所	0	0	0.0%	1
債権保全計画作成支援	事業所	0	0	0.0%	1
事業承継支援	事業所	3	0	0.0%	1
災害時対応支援	事業所	0	0	0.0%	1
フォローアップ支援	事業所	100	5	5.0%	3
結果報告	事業所	420	498	118.6%	5

#### II 専門相談支援事業

##### 支援のポイント・成果

緊急性の高い専門的な相談事案に対して、当所提携専門家（弁護士、中小企業診断士、司法書士、行政書士、社会保険労務士、税理士、弁理士）との連携により事業を実施。経営指導員が調査分析した後、案件に適した専門家との三者面談を早期に実施し、迅速な対応により課題解決に導いた。

##### 【具体的な支援内容】

法人設立等登記：6件、許認可等申請：7件、就業規則・定款：1件、法的整理：2件、補助金・助成金申請：28件、債権回収：1件、事業承継：4件、会計管理：17件、税務：26件、労働問題・労務：14件、民事・相続関係：3件、取引・契約関係：8件、知的財産権：0件、マーケティング：3件、開業：1件、事業計画作成：8件、経営改善：1件

●支援日数：111日 ●支援企業数：105件 ●延べ支援件数：111件

事業名	新規/継続	指標	目標数値	実績数値	達成率	事業評価
専門相談支援事業（税務）	継続	相談日数	35	26	74.3%	4
専門相談支援事業（税務以外）	継続	相談日数	70	85	121.4%	5

Ⅲ 地域活性化事業										
支援のポイント・成果										
【求人・求職マッチング事業】										
<p>大阪府労働環境課、和泉市、ハローワーク泉大津と連携を図り、阪南地域労働ネットワーク事業として実施。新型コロナウイルス感染症防止対策のため、オンラインによる合同企業面接会を実施した。</p> <p>また今回は、オンライン面接会だけではなく、感染状況を鑑み和泉市就職情報フェアもリアル開催で実施した。コロナ禍においてオンラインによる面接会は感染対策だけでなく遠方にお住いの求職者の方が会社等に訪問することなく面談を実施できるというメリットがあり、一定の成果が上がっていた。一方で表情がわかりにくい、直接話す方が聞きたいことが聞きやすいなどオンライン疲れとも取れる兆候もあったため感染防止対策を取りながらリアルでも開催した。直接話ができるということで求職者が一定数来場された。</p> <p>オンライン開催においてはその利点を最大限に生かし、参加企業においては、新卒者、既卒者、中高年齢者及び障がい者に対して、自社の求める人材像や社風を広く効果的に周知する事ができ、人材確保に繋げるためのツールとして確立できた。</p> <p>リアル開催では直接面談することで求人企業・求職者ともにお互い社風や人物像の把握などができミスマッチを少なくでき一定の成果があったと考えられる。</p> <p>結果として9名の内定の成果も上がり、企業側のニーズと応募者とのマッチングも図られ、長引く人材不足解消に良い機会、結果が出たと考えられる。</p>										
(1) 単独事業										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	
○	求人・求職マッチング事業	50	35	70.0%	100	就職内定企業数	10	9	90.0%	5
(2) 広域事業（幹事事業のみ）										
府施策連携	事業名	総支援企業数		支援実績率	利用者満足率	目標の指標				事業評価
		計画	実績			項目	目標値	実績	達成率	

※府施策連携事業は、「府施策連携」欄に○をつけてください。各欄の記載は、個別調査の記載と合わせてください。

和泉商工会議所

事業名		求人・求職マッチング事業						
想定する実施期間		24 年度～ 年度まで ※複数年段階的実施事業は別紙にて計画を提出すること						
事業の概要	事業の目的 (現状や課題をどのような状態にしたいか)	日本の労働人口は1998年をピークに減少し続け、いまや65歳以上が人口に占める割合が4人に1人となり、超高齢社会に突入している。その様な状況の中、「健康で意欲と能力がある限り年齢に関係なく働き続けたい」「障がいがあってもその能力と適正に応じた職に就くことにより、自立した生活を送りたい」と考えている全ての働く意欲のある人々が能力を発揮し、安心して働く事により安定した生活を送ることが出来る社会を目指す。また新型コロナウイルスにより退職せざるを得ない状況になった求職者の方々が、次の職場を一刻も早く見つけられるようにすることも目的とする。合同就職面接会を開催することにより、中小企業の求める人材と働く意欲のある求職者のマッチングを行う事により企業の人材不足解消と雇用安定を図る。						
	支援する対象 (業種・事業所数等)	市内中小企業社 50社 若年者、中高年齢者、障がい者、コロナによる就労困難者 等						
	実施時期・具体的な内容及び事業手法	<p>新卒者・既卒者・中高年齢者及び障がい者、コロナによる就労困難者向けの就職説明会・面接会を実施。</p> <p>①第1回オンライン合同就職面接会 開催日時：令和4年12月7日（水）14:00～16:00 開催場所：オンライン 「新型コロナウイルス感染症」拡大防止対策として、オンラインによる合同就職面接会を開催した。</p> <p>大阪府内30校の大学に対して求職者募集チラシを配布し、大阪府労働環境課によるメール配信及び和泉市公式LINEでの投稿・和泉市関係団体やハローワークにおいてチラシ配布、インターネット広告等で広報活動を実施した。</p> <p>求人企業の発掘においては、商工会議所の広報やHP、SNS等による周知や経営指導員の巡回指導時においてニーズを収集し、募集を行い、事業へ積極的な参加を提案した。</p> <p>当日は14時～16時までの2時間となっており、前半後半の2部制とした。参加企業のブレイクアウトルームを作成し、求職者は説明を聞きたい企業のルームに入り、その後まず各企業より求人募集の内容について説明して頂き説明終了後自由に質疑応答や求人担当の方とお話いただくスタイルとした。求職者は自由に各企業を出入りできるようにもした。</p> <p>②和泉市就職情報フェア 開催日時：令和5年3月2日（木）13:00～16:00 開催場所：和泉シティプラザ 周知・広報については和泉市全世帯に対し、市広報誌に折り込みチラシを同封し広報活動を実施した。</p> <p>乗降者の多い泉北高速鉄道「和泉中央駅」JR「和泉府中駅」及び官公庁・市内公共施設にチラシ等を掲載依頼し、広く周知するとともに、大阪府労働環境課での労働相談・情報コーナーを設置した。新規求人企業の発掘においては、商工会議所の広報やSNSによる周知や経営指導員による巡回指導時においてニーズを収集し、事業への積極的な参加を提案した。</p> <p>また就職情報フェアについては募集企業数に上限があり、参加がかなわなかった企業が数社あり、個別対応にて求人相談を行った。</p> <p>&lt;事業手法（①府施策連携・②広域連携・③市町村連携・④相談事業相乗効果）の具体的な連携・効果を記載&gt;</p> <p>①府施策連携 大阪府労働環境課と連携を図り、事業の周知依頼や3月の就職情報フェアにおいては大阪府による労働相談コーナーを設けるなどした。</p> <p>②広域連携</p> <p>③市町村連携 市内事業所及び求職者に対する本事業の開催案内周知を実施。参加事業所の確保及び求職者の視聴に繋げることができた。</p> <p>④相談事業相乗 本事業参加企業に対して、適正な労務管理に向けた指導と各種雇用関連助成金に関する理解度の向上が図られた。</p>						
	計画に対する実績（数値）	総支援企業数(計画)	50.0	総支援企業数(実績)	35.0	支援実績率	70.0%	満足率
事業全体の実績／目	目標の達成度 (支援企業をどう変化させることができたか)	<p>本事業は、管内小規模事業者が直面する喫緊の経営課題である人材不足を解消すべく、「大阪府労働環境課」「ハローワーク泉大津」「和泉市」との連携により実施。求人募集企業に対しては、事前に本事業の開催趣旨の理解を図り、募集する職種の選定やオンラインによる会社説明・コロナ前以来リアルでも開催したため合同面接会の手法等について指導を行った。結果として、支援企業数は50社の目標に対して35社の実績、求職者数は、300名の計画に対して241名の実績であった。また本事業の成果として、就職内定企業数は10社に対して9社の結果であった。</p> <p>支援企業に対する本事業実施後の変化については、採用が実現した事業者は採用後の人材育成面や雇用関係助成金等の周知及び活用促進などにより職場環境の充実化に関しても提案指導を実施。また、採用に至らなかった事業者には、本事業を含む人材確保に向けた求人募集方法や周知方法等の再考提案を行った。</p>						

標達成度	代表指標	就職内定企業数				
	数値目標	10	実績数値	9	目標達成度	90.0%
	成果の代表事例	求人募集に対して1名の面接を行い、1名の方が採用された。今回企業側が求める人材と求職者の求める職種がうまくマッチングすることができた。企業にとっても今後の経営活動に向けて適した人材を採用することにより、企業としての将来性を高める成果を得る事が出来た。				
その他目標値の実績	目標値(計画)	300	目標値(実績)	241	目標達成度	80.3%
	和泉市オンライン合同就職面接会 56名 和泉市就職情報フェア 185名					
実施結果	課題及び次期以降への取組み(実績が目標値に達していない場合は、その理由や今後どのようにフォローするのか)	オンライン合同就職面接会の開催時期について12月は新卒予定者はある程度内定が決まってきており、中途採用希望者についても12月は動きが重く2月～5月頃が活発になることから開催時期については再度検討が必要である。また新卒予定者については年度内の卒業予定者だけでなく、就職活動の意欲が大きい次年度卒業予定の学生にもマッチした時期の設定をすることでより求職者と事業所とのマッチングが成立する可能性が高いと感じた。				

【別紙】複数の事業目標を設定している場合は、別紙に事業目標毎の実績/達成度をご記入ください。

実績/達成度①	計画に対する実績(数値)	支援企業数(計画)	50.0	支援企業数(実績)	35.0	支援実績率	70.0%	満足率	100.0%
	目標の達成度(支援企業をどう変化させることができたか)	本事業は、管内小規模事業者が直面する喫緊の経営課題である人材不足を解消すべく、「大阪府労働環境課」「ハローワーク泉大津」「和泉市」との連携により実施。求人募集企業に対しては、事前に本事業の開催趣旨の理解を図り、募集する職種の選定やオンラインによる会社説明・コロナ前以来リアルでも開催したため合同面接会の手法等について指導を行った。結果として、支援企業数は50社の目標に対して35社の実績、求職者数は、300名の計画に対して241名の実績であった。また本事業の成果として、就職内定企業数は10社に対して9社の結果であった。							
		指標	就職内定企業数						
		数値目標	10社	実績数値	9社	目標達成度	90.0%		
	その他目標値の実績	目標値(計画)	300	目標値(実績)	241	目標達成度	80.3%		
		オンライン合同企業面接会(求職者数)56名 和泉市就職情報フェア(求職者数)185名							